

INTERNATIONAL
SAFE
COMMUNITIES



合意書

国際セーフコミュニティ認証センター

及び

久留米市

は

全ての環境・状況の安全を対象に、市全域、全年齢の市民の傷害予防を通じた
安全なまちづくりに継続して取り組むことをここに合意します。
また、この取組に関わる者として、安全なまちづくりの取組を記録・評価する
とともに、国内外への普及に向けて活発に発信していくことに合意します。

日本国 久留米市

2023年 12月 9日



原口 新五

久留米市長



ペ ジョンイ 認証審査員(正)

インジェ大学 教授
インジェ大学セーフコミュニティ研究所 所長



吉富 巧

久留米市議会議員



レザ モハマディ

国際セーフコミュニティ認証センター
センター長



清水 啓介

久留米市校区まちづくり連絡協議会
会長代行



白石 陽子

日本セーフコミュニティ推進機構
(日本セーフコミュニティ支援センター)
代表理事

久留米市セーフコミュニティ 認証式

令和5年 12月 9日(土)

15:00~16:00

久留米シティプラザ 久留米座

市長挨拶



この度、久留米市は3回目のセーフコミュニティ国際認証を取得することができました。これもひとえに、これまで一緒に取組を進めてまいりました地域コミュニティ組織や警察、消防、関係団体の皆様方のご理解、ご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。

私は、まちづくりの鍵を握る「人」を育て、支えることを大切にしながら、「街を伸ばし、暮らしを守る」取組を進めることが重要と考え、「安心・安全で活力にあふれた、誰もが活き活き生活・活躍できる共生のまち」の実現を市政運営の基本目標にしています。

この目標を達成するために、市民一人ひとりが家庭や地域、職場で「けがや事故の予防」を心がけるセーフコミュニティは、大きな役割を果たしていると考えています。

これまで、私たちは、地域社会全体で手を携えてこのセーフコミュニティを進めてきました。その結果、久留米が安全なまちだと思える市民の割合が年々増加傾向にあるなど、市民の皆様にも取組の成果を感じていただいております、大変うれしく思います。

また、交通安全、子どもの安全、高齢者の安全、犯罪・暴力の予防、自殺予防、防災の各分野において、コロナ禍でも工夫しながら取組を継続し、成果に結びついていることは、認証審査員からも高い評価をいただきました。

こうした各分野で培ってきた協働の仕組みは、セーフコミュニティ以外における協働のまちづくりにもつながっており、久留米市の社会資源の一つとなっています。

近年、豪雨災害や様々な感染症の流行などから、「予防」の重要性がますます高まっています。今後も、3回目の認証を機に、これまでの取組をさらに磨き上げ、改めて市民の皆様へのセーフコミュニティの浸透を進めてまいりたいと考えています。

皆様におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年12月9日 久留米市長 原口 新五

久留米市セーフコミュニティ認証の歩み

平成23年7月	セーフコミュニティ活動開始を表明
平成25年12月	セーフコミュニティ国際認証取得 (国内9番目、中核市・九州初、世界329番目)
平成30年12月	セーフコミュニティ国際認証を取得(2回目)
令和4年12月	3回目の認証取得に向けた事前指導を実施
令和5年7,8月	3回目の認証取得に向けた現地審査を実施
令和5年12月	セーフコミュニティ国際認証を取得(3回目)

プログラム

- オープニング演奏 久留米大学吹奏楽部
- 合意書署名
- 認証盾、認証旗授与
- 審査員ビデオメッセージ(公認審査員 ペ ジョンイ)
- 式辞
- 祝辞
- 来賓紹介
- 感謝状贈呈

久留米市セーフコミュニティの取り組み

重点取り組み分野	重点取り組み項目
1 交通安全	①高齢者の交通事故防止 ②自転車事故の防止
2 子どもの安全	③児童虐待の防止 ④学校の安全
3 高齢者の安全	⑤転倒予防 ⑥高齢者虐待の防止
4 犯罪・暴力の予防	⑦犯罪の防止・防犯力の向上 ⑧DV防止・早期発見
5 自殺予防	⑨自殺・うつ病の予防
6 防災	⑩地域防災力の向上